



毎月第1・3日曜はお寺でHAVE A FUN!!

10時半からのキッズサービスに引き続き
楽しいクラスやアクティビティを通して
アミダさまのお心を学びましょう

☆クラス予定表☆

1月4日(日)
おにぎりづくり

1月18日(日)
消防署見学

2月1日(日)

お子さんをお持ちの方はぜひご参加下さい

トント仏教会 年次総会のお知らせ

1月25日(日)
午後12時30分より

延期されていた2014年度年次総会を上記の日程で行わせていただきますので、会員の皆様は出来る限りご出席いただきまますようよろしくお願い申し上げます。

なおどなたでもご出席はいただけますが、投票権があるのは会員の方のみとなりますのでご了承いただきますようあわせてお知らせ申し上げます

除夜の鐘がオンタリオフレースで行われました



集まった皆さんは新年を荘厳な鐘の響きの中迎えられました。今年はずっと良い年になるでしょう！

二〇一五年メンバーシップカード

新しく二〇一五年のために発行されるメンバーシップカードは大変美しくデザインされています。ぜひサンプルをご覧ください。レギュラーメンバーシップは毎年有効期限が一月一日から一月三十一日です。申し込みは出来るだけ早く年初にご登録下さい。申し込みの後、会費百ドルが納入されずとカードが送付されます。名誉会員カードは会費が無料で七十歳以上のメンバーが対象です。継続の意思のみでカードが送付されます。ご寄付は大歓迎です。全てのメンバーシップがより意義のあるものとなるよう日々改善する所存です。現在メンバーは無料の公証人サービスを受けることができ、またカナダ自動車協会(CAA)の緊急ロードサイドサービスを受ける事ができるようになりました。トント仏教会は皆様がメンバーになる事を歓迎します。

副会長 ダーリーン・リーガー



報恩講

宗祖親鸞聖人のご命日にあたり、聖人のご苦勞を偲び
ご恩徳に報謝する、浄土真宗でもっとも大切な法要です

1月17日(土)

午後5時 ベジタリアンポットラック夕食会

※ベジタリアンのおかずを1品お持ち下さい

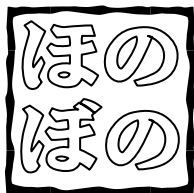
午後7時 報恩講(速夜法要)

1月18日(日)

午前11時 報恩講(日中法要)

法要終了後 新年会

※ランチと楽しいエンターテイメントを用意しています
ご家族とお友達をお誘い合わせてお参り下さい



HonoBonoMovie



ほのぼのムービーが復活します。皆さんおそろいで是非見に来て下さい。

アニメーション映画 風立ちぬ
スタジオジブリ 宮崎駿監督作品
日時 2015年 2月15日(日) 18:00
場所 トロント仏教会
無料

宮崎駿監督がゼロ戦の設計者・堀越二郎と作家の堀辰雄をモデルに、1930年代の日本で飛行機作りに情熱を傾けた青年の姿を描くアニメ。美しい飛行機を製作したいという夢を抱く青年が成し遂げたゼロ戦の誕生、そして青年と少女との出会いと別れをつづる。主人公の声には『エヴァンゲリオン』シリーズなどの庵野秀明監督を抜てき。ほかに、瀧本美織や西島秀俊、野村萬斎などが声優として参加する。希代の飛行機を作った青年の生きざまと共に、大正から昭和の社会の様子や日本の原風景にも注目。

[シネマトゥデイ](#)

末代無智章の大意

末法の世にあつて、まことの智慧もなく、
在家の生活をしているものたちは、一心に
阿弥陀如来をたのみたてまつつて、ほかの
神や仏に心を向けず、ひたすらみ仏に
おまかせしなさい。

そのものを、どんなに罪は重くとも、かならず
阿弥陀如来はお救いくださいます。

これが第十八願、すなわち念仏往生の願の
こころです。

このように信心を決定した後は、寝てもさめ
ても、命のあるかぎりには仏恩報謝の念仏を
すべきです。

(五帖第一通)

敬 弔

次の方々が御往生されました

生前のご苦勞を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

こさか よしえ様

八十九歳 十一月三十日往生

森 歳雄様

九十九歳 十二月二日往生



年忌(年回)法要

次の年にご往生された方は年忌法要が回ってまいります
個別での法事をご希望の場合はお寺までご連絡下さい

一周忌(二〇一四年) 三回忌(二〇一三年)

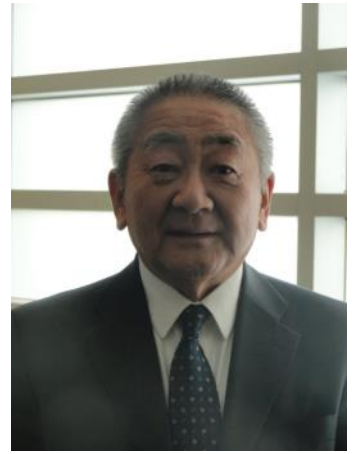
七回忌(二〇〇九年) 十三回忌(二〇〇三年)

十七回忌(一九九九年) 二十三回忌(一九九三年)

二十五回忌(一九九一年) 二十七回忌(一九八九年)

三十三回忌(一九八三年) 五十回忌(一九六六年)

大変な年



誰が二〇一四年一月に、この年に起こったことを予測できたでしょうか。藤井先生のお父さんの突然の訃報で彼は年次に日本に帰国しなければならなくなりました。それからというものお寺は混乱の渦の中に突入しました。しかしメン

バー、有志の方々のあらゆるチャレンジを惜しまず努力を重ねる姿勢の結果、皆疲れ果てたといえども何とかこの事態を切り抜けられました。私達は今やっと安堵を感じています。

一年を通じてクリスティーナ先生は先頭に立って皆を指導しました。周りの人間はもちろん彼女自身こんなに活躍すると思っていなかったでしょう。私達は彼女の考えは良いか否か相談すらしませんでした。そんなところに遠藤先生が突然任命されてきました。何の周到な準備もなく、ましてカナダの生活には不可欠の運転においても彼は日本でもほとんどペーパードライバーだったというのですから驚きです。彼等自身かなりのプレッシャーを背負っての任務だと思います。私は先生たちがこの状況に怯まないで努力されていることを嬉しく思っています。そして先生も皆の支援を実感していることを知っています。この難局の事態は降りかかる色々な困難な課題を調整していかなければいけない我々事務のスタッフ、役員会、運営委員会をも苦慮させました。結局、メンバーの方々に、お寺の行事等でご迷惑をおかけしたと思えます。ご勘弁いただいたこと恐縮に存じます。

私が任についたとき一番に目標にしていたことは、親愛なる一世二世の方々との後に続くいわゆる50代、60代の人々との結束でした。しかしながら本当にたくさんの人達が、この一年亡くなりました。彼らの大半は気取りのない世代であり、お寺によく貢献してくれたよき友人、助言者でした。彼らは何十年に渡りお寺の中心であり活力源でした。もちろん私は苦や無常について学びました。しかし正直言ってもこの件に関して役立っているとは言えません。痛いことです。私は努力し続けなければなりません。

さて私はこの文章を締めくくらなければなりません。私の義理の母が九四歳で亡くなりました。私は私の妻と同じくらいこの素晴らしい女性を愛していました。妻も分かってくれています。

もし貴方がこの文章を読んで下さったら、私の光栄の致すところですよ。なぜなら貴方は元気で見守っていてくださるといふことです。そしてまた一年勇敢に大きな一歩を踏み出すなら（私の足は弱っています）私は笑みを互いに交わし合いながら歓迎いたします。

ジェームズ・マーティン先生がおっしゃるように、互いに抱き合おう。自分自身も含めて。招き入れよう。各々をそして自分自身も。

この新しい年を、自分と同じくらい貴方のために互いを尊重しましょう。そして一緒に良く生き念仏をたくさんたたくさん称えましょう。

合掌

会長　ロイ草野

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。初めてトロントで新年を迎えますが今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は私にとって大きな変化の年でした。カナダに開教使としてやって来たのです。六月に日本をたちカナダに降り立ちました。ステイプストン、バンクーバーそしてシアトル、ケローナ等で研修で夏を過ごしました。この夏はこれからも一生の思い出と糧になってくれることと思います。

そして八月にトロントに来て以来、トロント仏教会の皆様にも私が開教使として立派に仕事が出来ようお育てを賜りますようよろしくお願ひいたします。

今年もお念仏申し、皆様に支えられて素晴らしい一年が過ごせるようにと思ひます。

お正月といひますと日本では毎年、たくさんの友達から送られた年賀状を見るのが楽しみです。年賀状という干支のことを思ひ出します。今年も羊年ですね。ところで皆さんはこの十二支にはこんな話があることをご存知ですか。

大昔、神様が「一月一日の朝、一番から十二番に来たものを一年交代で動物の大將にする」と手紙を書きました。それを受け取った全国の動物たちは自分が一番になろうと翌朝、まだ暗いうちから一斉にスタートしました。でも猫だけは「一月二日」の朝とねずみから聞いていたので出発しませんでした。犬と猿は始めは仲良く並んで走っていましたがそのうち仲が悪くなつてしまひ、丸木橋の上で喧嘩を始めました。

いよいよ新年の太陽が昇ったとき、前日の夕方から出発していた牛が一番に現れました。しかし牛の背に乗っていたネズミが

牛の背からぴよんと飛び降り一番でゴールインしました。こうして次々に動物たちはゴールし、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の順となりました。カエルは十三番目になってしまったので「もうカエル」といつて帰ってしまひました。

まっしぐらに速く来る者、喧嘩をするもの、ネズミのように他をだますもの、また他を利用するものなど様々ありますが、私達人間も、何かを得るため懸命に努力したり競って喧嘩をしたり、時にはだまされたりしながら日々を過ごしています。

そして、ある年齢になって今までの人生を振り返るとなんと早く時が過ぎ去ってしまったかと思ひます。

確かに二歳の子供の一年は生きた長さの二分の一です。だから長いと感ずるでしょう。しかし七十歳になれば一年は七十分の一と感ずるわけで同じ速度の感ずる時が過ぎ去るわけではありませぬ。

私達人間は時間をどのように考えればいひのでしょうか。

南无阿弥陀仏を称え、如来の救いを一心に見つめていけば時という観念を超えて、たとえ競争の勝ち負けにかかわらず充実した人生が送れるはずです。

十二支のように色々な年があり、私達も色々な個性がありますが、今年も皆で仲良く各々のスピードで、しかし信心のある一年を過ごしたいものです。

合掌

駐在開教使 遠藤竜平

佛心

二〇一五年一月号

浄土真宗

トロント本願寺

年頭の辞

新しい年の初めにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年、六月に法統を継承し、本願寺住職・浄土真宗本願寺派門主となりました。社会状況の変化が激しい現代社会において、浄土真宗のみ教えがより多くの方にとつて生きる依りどころとなるよう、伝えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

浄土真宗の教えは、親鸞聖人によつて説かれました。以来、七九〇年以上にわたり受け継がれ、今日の私たちに届いています。それは、み教えが、時代や場所に関係なく、すべての人にとって生きる依りどころとなつてきたからです。仏教は、自己中心的なとらわれを離れ、真理に基づいて生きる生き方を明らかにしています。しかし、そのようにできない私たちは、様々な悲しみや苦しみを抱えることとなります。

親鸞聖人は、このような私たちを必ず仏にならせよ

うと阿弥陀様がはたらいいて下さると教えてくださいました。この阿弥陀様のはたらきによって、私たちは、真理に気づき、わが身の姿を省みることが出来ます。

本年も、み教えを聞き、お念仏申す生活を送らせていただきます。

二〇一五年一月一日

浄土真宗本願寺派

門主 大谷光淳

